

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年5月20日午前10時～11時30分
開催会場	桜ヶ丘公民館 2階会議室
出席議員	正副議長、可児慶志、富田牧子、山根一男、野呂和久、出口忠雄、勝野正規、渡辺仁美、田原理香
班長	可児慶志
報告書作成者	可児慶志
参加者数	22名
実施内容	「議会のトビラ」により29年度予算編成審議経過を報告、関連質疑、「公民館のコミセン化」に向けての意見徴収
質疑および意見等	<p>○予算関連質疑及び意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生議会はさらに改善を加えて継続を期待する。 ・議員定数への学者や審議会のみならず市民意見の聴取をすべきである。 ・「議会のトビラ」の予算説明を充実しさらにわかりやすくすること。 ・議会報告会では説明より、意見交換を充実するべきだ。 ・行政、議会とも市民の意見を真摯に受け止め、是々非々で速やかに回答を行うこと。 ・一般質問をしていない議員がいるが、なぜ行わないのか。 ・予算審議で修正提案など議会のチェック機能が十分果たされているか。 ・市債14.4%は市民目線では多すぎる。 ・教員の負担軽減のため加配への議会の努力を求める。 ・子育てを重点方針にしていることに感謝するが、安心して働けるようキッズクラブに高学年の入室待機が発生しないよう職員の充実などをされたい。 ・子育て拠点施設の建設管理を議会も行き、巨額投資に見合う賑わいの創出を望む。 ・「マイナス10ヶ月」の表現はネガティブさを感じる。 ・シルバー人材と社協のように同趣旨の福祉団体に補助金が支給されているのは疑問である。 ・河川堤防や道路の草刈りなどへのボランティア活動に対する補助金の支給をされたい。ボランティア団体のさらなる強化を図る必要がある。 ・自治連合会からの地域要望への議会の側面からの支援を求めるとともに、市からはさらに丁寧な説明を求める。 ・リニア新幹線の進捗状況が見えないので、景観や騒音に対する地域対応ができない ・桜ヶ丘ハイツ内に墓地に建設ができないか。 ・大森新田交差点の渋滞緩和が二野大森線の開通で解消されることを望む。 <p>○コミュニティセンター化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思想信条の自由が認められているので、公民館でも規制をなくし自由に利用できる施設にすることに賛成する。 ・営利を目的にした民間企業の中で、高齢者を対象にした「公の施設」では好ましくない催しをする企業もあるので、使用に弊害が出ないようにしながら十分検討されたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14 の地域、公民館に画一的な規則化するのではなく、地域特性に沿ったきめ細かな仕組みを作ること。 ・ 当日利用の申し込みを認めるなど柔軟な対応をすること。 ・ 公共施設は効率主義ではなく、市民サービスを第一としてほしい。 ・ 民間利用が可能となっても、市民の生涯学習拠点であることは変わらないので、地域住民が優先的に利用できる仕組みにすること。 ・ 各公民館の利用状況がインターネットで確認できるようにする。 ・ 防災上の観点から、避難所となる公民館をはじめとする公共施設は耐震化やバリアフリー化などを行い、安全性を確保すること。
<p>上記の内 委員会等 で検討す べきもの</p>	

平成 29年 5月 24日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会

会場 班長 可児 慶志